

「eスポーツ」×「協同組合」が出逢わせた奇跡の絆！

和歌山電工・八洲電業・スズデンの合同チームがDENZAI CUP 2代目王者！

(使用タイトル：ストリートファイター6)



全日電材連・eスポーツ全国大会「DENZAI CUP」～ROUND 2～が2月8日(土)、午前11時より esports Style UENO(東京都台東区)にて開催され、和歌山電工株式会社(和歌山県和歌山市。和歌山県電設資材卸業協同組合)、八洲電業株式会社(大阪府大阪市。大阪府電設資材卸業協同組合)、スズデン株式会社(東京都千代田区。東京電設資材卸業協同組合)の合同チームが2代目王者の栄冠を勝ち取った。

日本の電気設備資材(略して、電材(DENZAI))卸会社による協同組合の全国組織、全日本電設資材卸業協同組合連合会(略称:全日電材連)に加盟する約50社の中から参加した16社による独自のトーナメント方式を勝ち抜き、見事な優勝を手にした。(詳細やアーカイブ動画は、全日電材連ホームページ「eスポーツ大会」ページを参照下さい。<https://www.jeda.or.jp/esports2>)



(優勝した合同チーム。左から八洲電業・橋爪選手・森選手、和歌山電工・藤山選手、スズデン・山田選手)

予選トーナメントから波乱の連続。 前回大会の優勝、準優勝がまさかの初戦敗退！

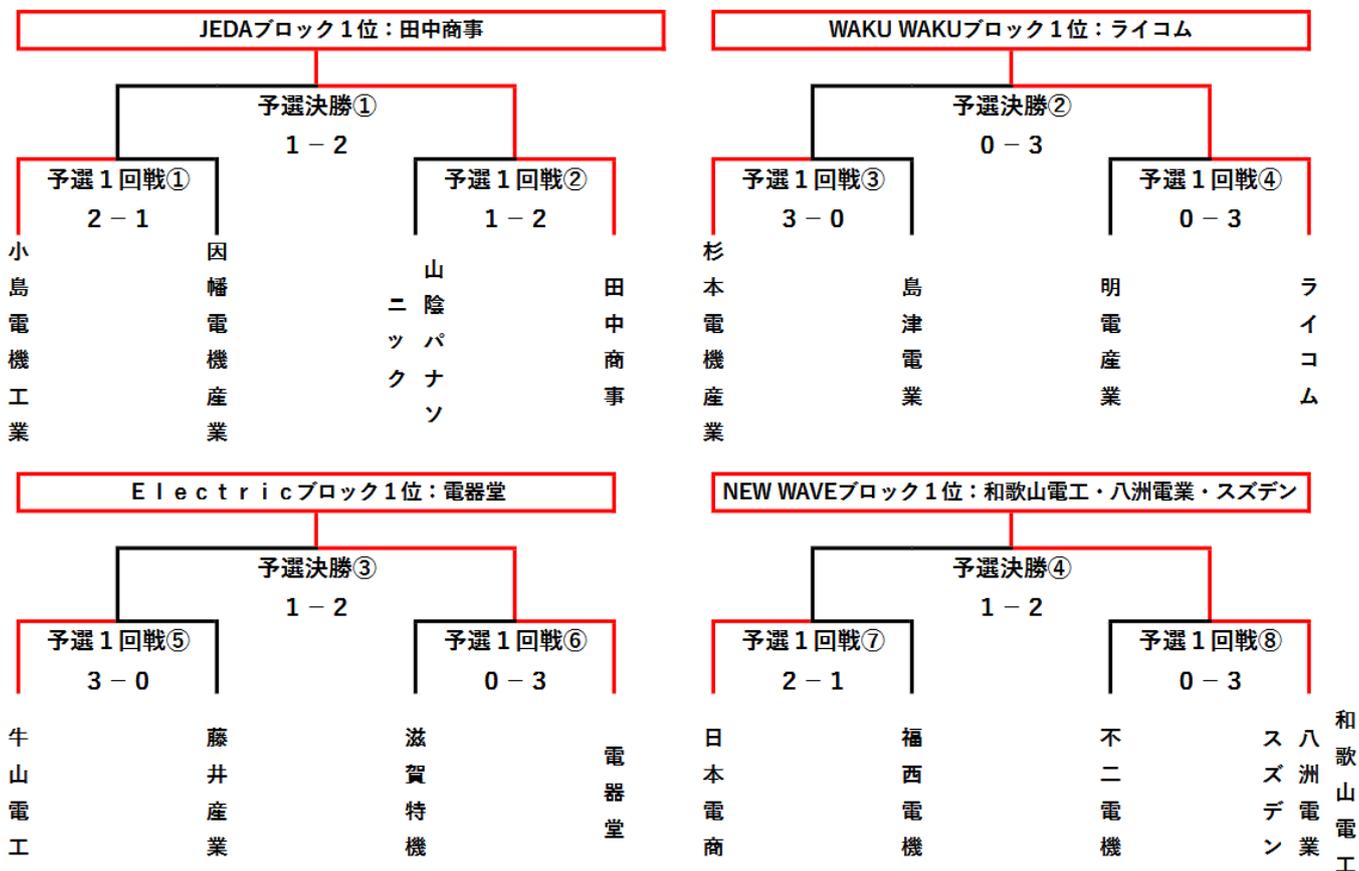
予選トーナメント1回戦・決勝は、午前10時15分から esports Style UENO の MeetUpi・ii、配信ルームを利用して、4つのブロックに分かれ、かつ1対1の3試合同時対戦で、B03（ベストオブスリー（2ROUND 先勝）2本先取）で行った。（予選は配信無し）

この日、朝から中日本・西日本では大雪のため交通機関が乱れたり、配信開始直後では通信機器のトラブル等で中断をするなどの現象が起きる中、予選トーナメントの対戦でも波乱の連続で、会場には異様な空気が漂っていた。

昨年優勝の福西電機株式会社（大阪府大阪市北区。大阪府電設資材卸業協同組合）、準優勝の山陰パナソニック株式会社（島根県出雲市。山陰電設資材卸業協同組合）が初戦で敗れ、共に下剋上決勝トーナメントは1回戦からのスタートとなり、代わって予選を制したのは全て初出場の4社（田中商事株式会社（東京都品川区。東京電設資材卸業協同組合）、株式会社ライコム（神奈川県横浜市。神奈川県電設資材卸業協同組合）、株式会社電器堂（静岡県浜松市。静岡県電設資材卸業協同組合）、和歌山電工・八洲電業・スズデン）であった。

予選結果はこちら。

DENZAICUP ～ROUND2～ 予選トーナメント結果（2024.2.8） 予選トーナメントは2名勝利を出した会社様の勝利。勝利数の記載。



下剋上決勝トーナメント前半戦。 初出場の勢いか？それとも予選敗退の悔しさをバネに大躍進するのか？

下剋上決勝トーナメントから YouTube の生配信を開始し、特別ゲストとして、実況解説に e スポーツキャスターの平岩康佑氏を迎えて、対戦を開始した。前半戦は予選ブロック4つの内、JEDA ブロックと WAKU WAKU ブロックの2つの予選トーナメント結果を踏まえて、下剋上決勝トーナメントの組み合わせを決め、ベスト4の2チームを決めるまでの対戦を行った。

下剋上決勝トーナメントは、B01（ベストオブワン（2ROUND 先勝）1本勝負）。先鋒（10P）・中堅（10P）・大将戦（20P）（延長戦は5P）で対戦。

1回戦第1試合は、明電産業株式会社（栃木県宇都宮市。北関東電設資材卸業協同組合）と因幡電機産業株式会社（大阪府大阪市西区。大阪府電設資材卸業協同組合）の対戦。前回大会を経験している明電産業相手に因幡電機産業が3連勝。

続く1回戦第2試合では山陰パナソニックと初出場の島津電業株式会社（大阪府大阪市都島区。大阪府電設資材卸業協同組合。出場は東京営業所（豊島区））が対戦。こちらは山陰パナソニックが貫録を見せつけ、初出場チームの結果は両極に分かれた形となった。

2回戦第1試合は、昨年ベスト4の杉本電機産業株式会社（神奈川県川崎市。神奈川県電設資材卸業協同組合）が登場。昨年の開幕試合を勝利した千葉選手が先鋒戦勝利を飾るも、1回戦を勝って波に乗る因幡電機産業が中堅戦、大将戦をしっかりと勝利を収め、ベスト8へ進出した。

2回戦第2試合は予選 JEDA ブロック準優勝の小島電機工業株式会社（東京都北区。東京電設資材卸業協同組合）が登場。前回大会は最下位だったが、今年は社内予選を行い、メンバーを一新して出場。山陰パナソニックは、数日前に主力選手がインフルエンザで出場辞退となり、代役選手の活躍もあったが、小島電機工業が圧勝してベスト8へ進んだ。

準々決勝第1試合。苦しみながらも着実に勝利を重ねた予選 JEDA ブロック優勝の田中商事と下剋上決勝トーナメント1回戦から連勝して勢いづく因幡電機産業の対戦であったが、予選での接戦をものにした田中商事が実力を見せつけて、3連勝でベスト4へ1番乗りを決めた。

準々決勝第2試合は、予選 WAKU WAKU ブロックを2試合連続で3-0勝利と3名全員が圧倒的な強さを見せつけたライコムが登場。だが、予選終了から2時間程時間が経過したせいか、イベントエリアの空気に飲み込まれたか、先鋒戦、中堅戦を簡単に落とし、敗戦の空気が漂う中、大将戦で稲葉選手が勝利を収めて、今大会初の延長戦に突入。延長戦では、小島電機工業の中山選手が先制するもライコム宮崎選手にあと一歩及ばず。ROUND 勝利数では小島電機工業が5-4と勝りながら、25-20の勝利ポイントの差でライコムが辛くも準決勝へ進出した。



田中商事の大黒柱・菊池選手



初出場ベスト4の立役者 ライコム・稲葉選手

下剋上決勝トーナメント後半戦は、何度でも見れる熱戦の連続。2連覇の夢は？ 合同チームの実力は？

休憩を挟んだ後、後半戦からは、Electric ブロックと NEW WAVE ブロックの予選トーナメント結果を踏まえた下剋上決勝トーナメントが行われた。こちらも同じく B01 での対戦。

1回戦第3試合は、昨年も出場し、昨年の個人成績2位の野村知秀選手を擁する不二電機株式会社（大阪府大阪市平野区。大阪府電設資材卸業協同組合）と初出場の藤井産業株式会社（栃木県宇都宮市。北関東電設資材卸業協同組合）が対戦。3戦全て ROUND3 までもつれ込む、ほぼ互角の接戦となり、紙一重の差で藤井産業が押し切って2回戦進出を決めた。

1 回戦第 4 試合は、前回優勝の福西電機が登場。予選の初戦敗退をバネにして、初出場の滋賀特機株式会社（滋賀県大津市。滋賀電設資材卸業協同組合）相手に全く寄せ付けず、完封勝利で 2 回戦進出を決めた。

2 回戦第 3 試合は予選 NEW WAVE ブロック準優勝、前回王者の福西電機を初戦で倒した株式会社日本電商（大阪府大阪市中央区。大阪府電設資材卸業協同組合）が登場。1 回戦で接戦を勝利して勢いづく藤井産業をものともせず、1 ROUND 目は落とすも、その後 6 ROUND 連続勝利を収めて、準々決勝進出を決めた。

2 回戦第 4 試合は、昨年のベスト 4 の再戦となった福西電機と牛山電工株式会社（埼玉県川越市。埼玉電設資材卸業協同組合）の一戦。白熱した両チームの闘志が交差する死闘の展開となった。先鋒戦、中堅戦は福西電機が勝利するも、大将戦では牛山電工の岡選手が勝利し、20-20 の同点で今大会 3 度目の延長戦へ突入。延長戦は大将戦に出場した両名が再戦。昨年の大会を視聴して、出場を志願した三石選手が逆転で勝利を収め、昨年よりもレベルアップしてきた福西電機を見せつけた一戦となった。

準々決勝第 3 試合も名勝負が続く。予選 Electric ブロックを制した電器堂が登場し、日本電商と対戦。先鋒戦は日本電商が勝利。中堅戦は電器堂が勝利と分け合い、勝負は大将戦に託され、1・2 ROUND は両者が取り合うも、3 ROUND 目は日本電商の大将・藤井選手が勝利し、ベスト 4 進出を決めた。

準々決勝第 4 試合は予選 NEW WAVE ブロック優勝の和歌山電工・八洲電業・スズデンが登場。今大会は当初個人戦を行う予定で募集を行ったが、応募少数であったため、急遽、合同チームとして出場して頂く事となった経緯があった。ただ、個人戦に応募するだけあり、実力の高いメンバーが揃い、今大会の優勝候補筆頭に上がっていた。そこに、前回大会優勝かつ今大会は予選の初戦敗退ながら、1 回戦から勝ち上がって 2 連覇を狙う福西電機が対戦する、準々決勝最後は一番という見方が強かった。

だが結果は、和歌山電工・八洲電業・スズデンの合同チームが 40-0 と圧倒的な勝利を収め、福西電機の 2 連覇の夢は潰え、会場内からもどよめきの声が挙がっていた。



出場プレイヤーROUND 勝率 1 位。電器堂・大橋選手



福西電機 2 連覇を託され奮闘する三石選手

無敵艦隊 vs 何度でもピンチを救う上司 最後まで決着が分からない壮絶な歴史的死闘

2 度目の休憩を挟んだ後、準決勝を開始。

準決勝第 1 試合は、予選 JEDA ブロック優勝の田中商事と、予選 NEW WAVE ブロック 2 位ながら前回大会優勝の福西電機と予選 Electric ブロック 1 位の電器堂を破って猛進する日本電商の対戦。

先鋒戦、中堅戦。田中商事はベスト 4 を決めてから待ち時間があっただけで連続で落としてしまう。この窮地を救ったのが大将戦に登場の菊池選手。日本電商・藤井選手を一気に攻めたてて延長戦へ持ち込む。

延長戦は両チーム、大将戦の両名を選出し、再戦となった。1 ROUND 目で菊池選手が勝利し、最終決戦へ王手

をかけたが、日本電商・藤井選手が2 ROUND 連続で巻き返し、逆転で最終決戦へ駒を進めた。

続く準決勝第2試合。ここでも和歌山電工・八洲電業・スズデンの合同チームは圧倒的な力を見せつける。予選では同じく圧倒的勝利を収め、準々決勝では逆転勝利でベスト4を決めたライコムであったが、そのライコムに対しても3名全員が勝利を収め、40-0の圧巻勝利で最終決戦進出を決めた。

最終決戦は2年連続で、予選ブロック決勝で対戦したチーム同士の試合となった。

予選 NEW WAVE ブロックの決勝戦でもこのカードが実現しており、対戦結果は2-1 (ROUND 勝利数は12-10) で、和歌山電工・八洲電業・スズデンの合同チームの勝利。スズデン山田選手が日本電商・藤井選手に勝利。和歌山電工・藤山選手が日本電商・村田選手に勝利。八洲電業・森選手は日本電商・久保選手に逆転で敗れていたが、3対戦共に3本目の勝負まで対戦する激戦であった。

最終決戦は勝ち抜き戦。同じくB01で、相手3名を倒した時点で優勝となる。

最終決戦の1stバトル。和歌山電工・八洲電業・スズデンの合同チームは、スズデン・山田選手、日本電商は村田選手を選択。1・2 ROUND を両選手が取り合うも、最後はスズデン・山田選手が制して、まず1勝。

2ndバトル。日本電商は2人目に久保選手を投入。1 ROUND 目を先制するも、2・3 ROUND も接戦となったが、わずかな差でスズデン・山田選手が勝利を収め、一気に王手をかけた。

後が無くなった日本電商は、大将の藤井選手を選択。3rdバトルも接戦となり、1 ROUND 目は日本電商・藤井選手が勝利するも、2 ROUND 目はスズデン・山田選手が奪い、この瞬間、誰もが日本電商的敗北を確信した。

ただ、今大会の盛り上がりはここからだ。今後、この「DENZAI CUP」の歴史の中でも語り継がれるであろう、名勝負はここが始まりだった。激戦、壮絶、死闘。まるで映画やドラマのような展開に、会場もYouTube視聴者も釘付けとなった。

準々決勝、準決勝と、ピンチを何度も救ってきた日本電商・藤井選手は、追い込まれても冷静だった。曇みかけるラッシュとインパクト、山田選手も堅い守りを見せるが、細かい隙を突いて、見事に勝利。スズデン・山田選手はこの日初めての敗北となった。

難攻不落の牙城を崩した日本電商・藤井選手は、続いて、八洲電業・森選手との対戦。森選手もこの日の敗北は予選の1敗だけという圧倒的強さを見せつけていたが、日本電商・藤井選手がミス無く2 ROUND 連勝で、2-2の同点に追いつき、逆王手を決める。

ファイナルバトル。日本電商は3連戦目となる藤井選手。合同チームは和歌山電工・藤山選手に全てを賭ける。1 ROUND 目。体力ゲージはお互い残り1本状態まで攻め合い、ワンタッチの差で和歌山電工・藤山選手が勝利。2 ROUND 目。激しい攻防戦の末、日本電商・藤井選手が勝利。

ファイナルバトルのファイナル ROUND までもつれる。次に勝った方が優勝。

3 ROUND 目。端に追いこまれた日本電商・藤井選手が和歌山電工・藤山選手の猛攻を受ける。日本電商・藤井選手も大技を駆使してリードを奪おうとするも惜しくも届かず、逆に和歌山電工・藤山選手が大技を繰り出し、壮絶な死闘に決着を着けた。

この試合の ROUND 勝利数は7-7。互角の勝負に勝利の女神はどちらに微笑んでもおかしくはなかったが、和歌山電工・藤山選手が唯一の負け無し5連勝。圧倒的な力でMVP級の働きを見せ、2代目王者の栄冠に導いた。



最終決戦後に喜びを分かち合う、日本電商・藤井選手と和歌山電工・藤山選手

「DENZAI CUP」が無ければ、この日、合同チームの4名が出逢う事は無かった。

準優勝ながら、幾度にわたって、ピンチを脱して勝ち上がってきた日本電商・藤井選手の奮闘ぶりは、多くの感動を呼んだ。大会後の出勤日の午前中は仕事にならない程、多くの賞賛を社内で受けたとの事。

「DENZAI CUP」の目的は、社員の存在価値を高め、社内の一体感の醸成や士気高揚のきっかけになること。出場した各社がこの目的を達成出来るよう今後も努めていく。

また、優勝インタビューで、和歌山電工・藤山選手「名刺交換した後に、「(使用する)キャラは何ですか？」と聞くのは今日が最後だと思います。」と話す通り、「DENZAI CUP」が無ければ、決して出逢う事が無かった4名。一期一会の絆が優勝を手繰り寄せた。

スズデン株式会社は東京のど真ん中で300名程の従業員を抱える組合員会社の中でも大規模な会社。和歌山電工株式会社は和歌山で愛される地元根付いた50名規模の中堅会社。八洲電業株式会社は大阪の下町情緒感じる街中で営む5名程度の小規模経営の会社。同業他社ではあるが、全く違う土地、全く違う環境で働いていた4名が、「ストリートファイターが好きな同志」として急遽集められて栄光に輝いたのは、「DENZAI CUP」以外では起こりえない奇跡の優勝だった。

常に切磋琢磨し合う仲の良い同業他社の組合だからこそ、この「DENZAI CUP」が成立出来た。協同組合は、日本各地の中小企業が集まって、様々な問題解決を非営利で相互扶助の精神のもと、お互いに助け合う組織。昨今、協同組合からの脱退や意義の再検討が叫ばれる中、この「DENZAI CUP」は協同組合としてポジティブで新たなメリットを生み出す事が出来たと感じる。

今後もeスポーツを通じて、多くの方に「電材(DENZAI)」の業界や商材を知って頂き、電材業界の発展に繋げていく。

【DENZAI CUP～ROUND2～ 協賛メーカー8社】

パナソニック株式会社エレクトリックワークス社様、東芝ライテック株式会社様、三菱電機株式会社様、日東工業株式会社様、ネグロス電工株式会社様、因幡電機産業株式会社JAPPY様、泉州電業株式会社様、パティオシステムズ株式会社様



全日電材連・eスポーツ大会「DENZAI CUP」～ROUND2～ 下剋上決勝トーナメント 結果

